

谷古宇正彦 舞台写真ワークショップ

舞台上で輝く役者たちの瞬間の姿を記憶することができる舞台写真家。

80年代から日本の舞台写真の第一人者として走り続け

演劇を志す若い人が撮影されることを憧れる谷古宇正彦氏から

舞台の魅力やその“瞬間”を感じ、切り撮るポイントなど…

実際の舞台（デモ公演）の中から直接体験することができる絶好のチャンスです。

日程

2016年11月20日（日）

12：30～16：30（予定）

会場

サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）小ホール

応募資格

舞台写真に関心を持つ方でデジタル一眼レフカメラを操作できること。

応募方法

裏面の応募用紙に必要事項を書き込み、下記宛先までお送り下さい（持参も可）

定員

20名程度

受講料

無料

必需品

デジタル一眼レフカメラ（必須）

以下、お持ちであれば

三脚・ズームレンズ・記録メディア

お申し込み・お問い合わせ先

上田市交流文化芸術センター 〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15

TEL0268-27-2000

応募締切

2016年11月7日（月）

※定員になりしだい締切

谷古宇正彦（やこう まさひこ）

1947年東京都生まれ。現代日本における舞台写真の第一人者。多摩芸術学園写真科中退後、写真家・斎藤康一氏に師事。

72年からはフリーランスの写真家として活動を始める。芸能・文芸誌の仕事を経て、80年代から演劇を中心に撮影。80年から89年にかけて、演劇雑誌「新劇」（後に「しんげき」）誌上で、名物グラビアページ「FACE」を担当し、新劇のベテランから小劇場の若手俳優まで多くの演劇人の素顔を紹介。現在は取材撮影のほか、新国立劇場をはじめ、こまつ座、地人会、加藤健一事務所、パルコ劇場、東急文化村などの劇場、制作集団のオフィシャル・カメラマンを務めている。雑誌での演劇人、舞台に関する連載も多く、それらをまとめた写真展を東京、大阪などでも開いている。

上田市交流文化芸術センターでは、「真田風雲録」「ロマン派症候群」のプロデュース公演を撮影。

劇場美術館「劇場の記憶・舞台の軌跡」—舞台写真家・谷古宇正彦写真展—

2016年11月11日（金）～23日（水）10：00～19：00（11日は15時から、23日は16時まで【最終入場15：30】）

サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）大スタジオ ◎入場無料